

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(8/1)

文・写真：武田、写真：倉谷、山國

日時：2019(令和元)年 8月 1日(木) 9:30～15:00

気象：天候=晴

活動エリア：「4 4 林班ろ」

活動内容：「4 4 林班ろ」内の林床整備(枯損木・倒木・中折れ木の除伐)と作業道の補修

参加者：猪川 誠、斧田一陽、黒山泰弘倉谷邦雄、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、宮本 廣、山田真也、山 國

計 10 名

### <梅雨が明けたら……>

7/24 梅雨明け、たちまち連日の 35℃越え(大阪)、熱中症厳戒下の活動日。暑さに負けない元気な面々だが、①発汗や顔色の変化などお互いの体調変化に注意しながら、②こまめな水分補給、③頑張り過ぎず休み休みで、と先ずは改めての注意喚起。

また、大径木の伐倒で近くの木と一緒に引きずり倒され、これの下敷きになってチェーンソー操作者が死亡した事例を紹介。伐倒時は樹高の2倍以上以内の位置に入らないこと、声掛け励行、を改めて周知。素人集団としては心したいもの。さて、炎天下、日中が思いやられはするが今日も 44 林班の林床整備と作業道の補修に、3 班に別れ出発。

### <今日の成果>

作業道は水源手前の道陥没箇所の埋め戻しに土嚢袋を携行、20 袋を埋めて何とかフラットに出来た。また、付近の拡幅も進捗。これらの作業には倒木 4～5 本を玉切りして活用。水源への途中区間も山腹の倒木を路肩補強と杭材に活用しながら 30m を整備。林床整備は陥没箇所周辺の山腹で 30×30m の範囲、大木 6 本を処理。

当日の気象について、大阪の最高気温は 35℃越え、水源の溪は南に開け、しかも一帯が倒木で裸地に近く日差しが直撃。午後は早目に切り上げ退散。途中、湧水で喉を潤したとか。作業小屋に戻って一休みしていると、やがて遠方ではゴロゴロの雷鳴しきり、下山の車中、フロントガラスにポツリポツリ、高槻の路面は濡れていて、「間一髪セーフ」。

### <山の出会い>

本山寺の入口に咲いている鬼百合。花言葉は華麗・愉快・陽気・賢者・富・プライド(皆さんにピッタリな言葉はどれ?) and 高槻ケーブルテレビの取材

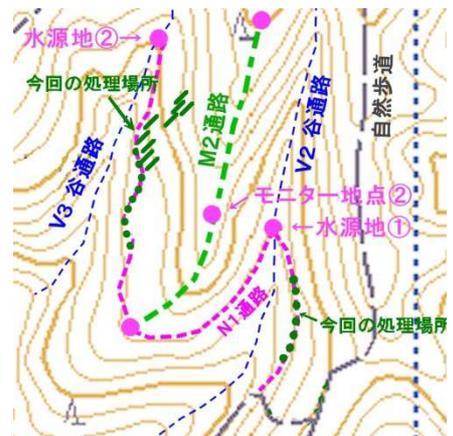
(なお、有志が昆虫夜間観察を実施→報告は別途)

(本文 終り)

<集合写真—開始時>



<活動地要図>



<陥没箇所-右は導水管>



<埋戻し・拡幅後—白いのは土嚢>



<除伐中>



<整備後>



<影地を選んで昼食中>



<パイプの切れ端を使った水飲み場>



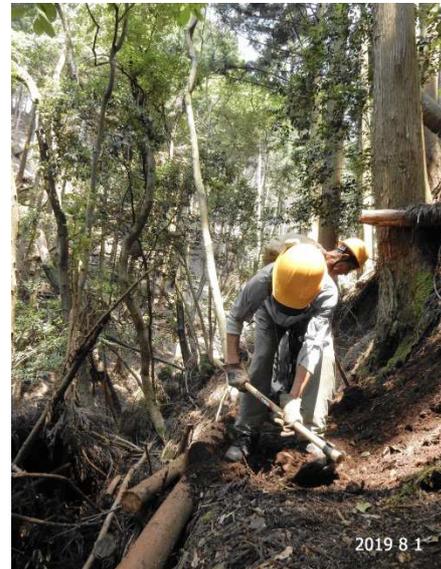
2019 8 1

<作業道一路肩に杭を打ち込む>



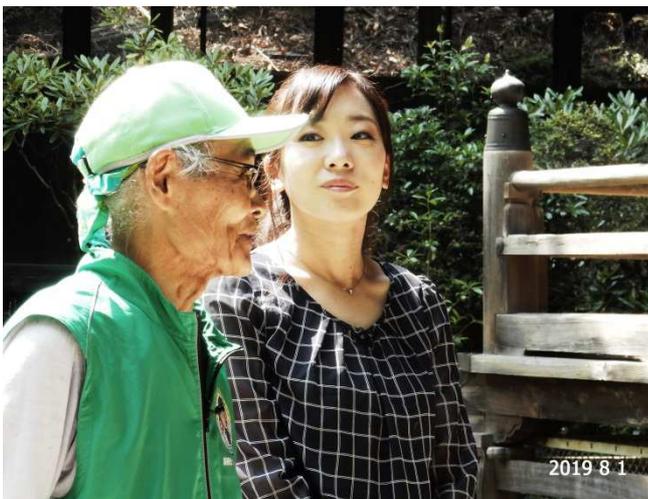
2019 8 1

<作業道一山腹を削って拡幅中>



2019 8 1

<高槻ケーブルTVの取材風景>



2019 8 1

<本山寺境内のオニユリ>



